沖縄労働局から

県内における令和5年の労働災害発生状況について
～ 死傷者数が増加 ～

令和6年6月7日発表

【労働災害発生状況のポイント】

６人の尊い命が失われ、死傷者数（休業４日以上。以下同じ。）が昭和47年以降で最多となり、重篤な被害につながりやすい墜落・転落による災害が依然として多発し、転倒による災害が増加して全体の４分の１以上を占め、50歳以上の災害が増加して全体の半分以上を占めた。

(1) **死亡者数**（別添資料ｐ1）
６人 前年比４人（200%）増

(2) **死傷者数**（別添資料ｐ2）
1,467人 前年比145人（11.0%）増

(3) **墜落・転落による災害**（別添資料ｐ3）
死傷者数210人 前年比３人（1.4%）減、全体の14.3%を占める。

(4) **転倒による災害**（別添資料ｐ3）
死傷者数395人 前年比45人（12.9%）増 全体の26.9%を占める。

(5) **50歳以上の災害**（別添資料ｐ4）
死傷者数762人 前年比99人（14.9%）増 全体の51.9%を占める。

※ 死亡者数は死亡災害報告による。死傷者数は労働者死傷病報告による。新型コロナウィルス感染症を除く。

沖縄労働局は、労働災害発生状況を踏まえ、以下の対策等に取り組みます。

(1)「沖縄県建設業Safe-Work運動」の展開等

沖縄労働局が沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部・建設業労働災害防止協会沖縄県支部とともに主催する「沖縄県建設業Safe-Work運動」の展開等により、重篤な被害につながりかねない墜落・転落による災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。

(2)「沖縄県小売業SAFE協議会」や「沖縄県介護施設SAFE協議会」の運営等

県内の主要な企業で構成する「沖縄県小売業SAFE協議会」や「沖縄県介護施設SAFE 協議会」の運営等により、増加する転倒や腰痛による災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。

(3)「エイジフレンドリーガイドライン」の周知等

高年齢労働者の特性を踏まえた対策を示す「エイジフレンドリーガイドライン」の周知等により、増加する高年齢労働者の災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。また、これらの活動を対象とする「エイジフレンドリー補助金」の活用を促進します。

【参考】

1 別添 沖縄県内における令和５年の労働災害発生状況（下記２の抜粋）
2 沖縄労働局HP 沖縄県内における令和５年の労働災害発生状況
Https：//jsite.mhlw.go.jp/okinawa－udoukyoku/jirei_toukei/saigaitoukei_jirei/toukei.html

3 厚生労働省ＨＰ 全国における令和５年の労働災害発生状況
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40395.html